

国道349号（県境部）のバイパス整備が完了しました！

令和元年東日本台風による冠水範囲や土砂災害危険箇所を回避し、幅員狭小や急カーブなどの現道の課題箇所を回避することを目的に、国土交通省が権限代行事業で進めていた国道349号丸森地区災害復旧事業「山側への別ルート」（延長6.0km）及び福島県が事業を進めている国道349号五十沢工区（兜橋～県境：延長0.3km）※が、令和8年1月31日（土）15時に開通しました。

※国道349号五十沢工区は福島県が国土交通省へ委託し、施行していただきました。



3月22日開催された開通報告会

引き続き、
県北建設事務所では、
兜橋から安禅寺付近
までの区間を、
五十沢2工区とし、
調査設計を
進めてまいります。



関根橋（百日川筋河川改修工事）の開通式が行われました

百日川の川幅を広げるための関根橋（市道館ノ越・関根線）架替工事が完了し、令和7年12月23日に高松本宮市長はじめ、関係者出席のもと開通式が盛大に行われました。橋の架け替えに併せ、本宮市による市道の整備も行われ、今までの急カーブがなくなり、歩道も整備され、通学路の安全確保と地域交通の円滑化が図られました。

今後も百日川の河川工事を継続して実施するため、皆様には不便をおかけすることありますが、洪水被害の軽減を図る工事に、ご理解とご協力をお願いいたします。



関根橋（市道館ノ越・関根線）の開通式

百日川 関根橋 位置図



整備が進む百日川筋

（裏面あります！）

だんざきはし 浪江国見線の「伊達崎橋」の復旧事業に着手しています。

■伊達崎（だんざき）橋

令和4年3月16日発生の地震により被災した桑折町の（主）浪江国見線伊達崎橋は、現在大型車通行止めとなっておりますが、国の修繕代行事業として詳細な調査検討を行った結果、令和6年4月16日に復旧方針が決定し公表されました。

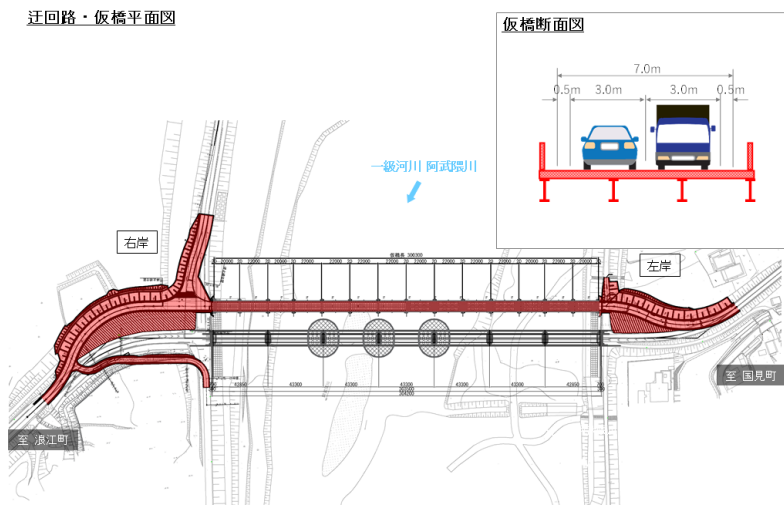
- 下部工（橋脚、橋台）を補修・補強します。
- 河川流水部の洗掘対策を行います。
- 上部工（橋桁、床版）を軽量化して架け替えます。
- 県の歩道整備事業計画と一体となって、新たに「歩道整備」も行います。

令和7年12月12日には、復旧のための仮橋工事に着手し、仮橋供用後は、大型車の通行も可能となります。

引き続きご不便おかけしますが、地域の皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

迂回路・仮橋工事について

国土交通省



出典：福島河川国道事務所ホームページ

伊達橋の進捗状況について

R8.1.26 現在



出典：福島河川国道事務所ホームページ資料に説明を追記

←「伊達橋 災害復旧」の詳細はこちら

伊達崎橋の進捗状況について（R8.3.2 現在）

国土交通省



出典：福島河川国道事務所ホームページ

←「伊達崎橋 修繕代行事業」の詳細はこちら

自然災害に備える防災・減災、国土強靱化の取組を行っています。

福島県では、今後起こりうる自然災害に備え防災・減災、国土強靱化の取り組みを行っています。

河道掘削や樹木伐採などによる治水対策や砂防えん堤工などの土砂災害対策、橋梁の耐震化、無電柱化などにも積極的に取り組んでいます。

今回は、砂防えん堤を補強した土砂災害対策の施工例を紹介致します。



施工前



施工後

坊田沢（伊達市月舘町）の砂防えん堤工施工状況

福島県県北建設事務所 企画調査課

TEL 024-521-2513 FAX 024-521-2848

HP <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41310a/>

